

中期的対策の検討方針

◎現状の改善ではなく、**抜本的な案内の改善**に向けて課題や改善案等について意見交換を行うものとする。

平成28年度

STEP 1 : 要因と課題の共有改善の方向性の共有

- “迷う”ことに対するその要因と課題に関する認識の共有
- 改善に向けた検討の方向性（どのような対策案を検討していくか）の共有

- ・ これまでに地下道の案内について寄せられた意見の整理
 - ・ 現地踏査
 - ・ 定量的な調査データ（H25、H27実施）
 - ・ 他の地下歩道の事例
- 上記を踏まえた対策の方向性を決定

STEP 2 : 対策イメージの共有

- 抜本的な案内改善に資する、改善の方法についての認識を共有

- ・ 対策の方向性を基に、案内板改善のイメージ（素案）を作成

平成29年度

STEP 3 : 改善案に対する意見徴収

- 案内板改善（素案）について、幅広く意見を聴取し、さらなる改善を実施
- 案内板に関する有識者の意見を聴取

- ・ 具体内容（案内板の記載内容、寸法、色彩、出入口番号の集約化等）について、地下歩道利用者にアンケートを実施
 - ・ アンケート結果を踏まえた改善案を基に、有識者とのヒアリングを実施
- 上記を踏まえた改善案を作成

H30年度

STEP 4 : 関係機関協議及び設計

- 案内板改善の具体化に向けて、関係機関協議及び設計を行う

- ・ 関係機関（JR西日本、西淀区役所等）と協議
- ・ 案内板の詳細な位置、材質等を決定

H31年度以降

STEP5～n : 案内板改善工事の実施・評価

- 引き続き、関係機関協議を実施
- 工事に必要な予算が確保でき次第、工事を発注

- 完成後、事後調査を実施し、改善効果を確認

歌島橋交差点地下歩道案内板の改善(中期的対策)

■ 地下歩道案内板改善の概要 (案内板の種類)

① 自転車誘導案内サイン(地上出入口部)

② 地下歩道案内サイン(地下階段踊り場部)

③ 出口番号(地上ガラス面)

④ 地上部案内サイン(地下壁面・天井部)

⑦ 自転車注意喚起サイン
(地下壁面・床面・階段踊り場、
地上EV入口が 2 面)

【地下壁面・床面】⇒大タイプ

【地下階段踊り場・地上EV入口が 2 面】
⇒小タイプ

⑤ 誘導サイン(地下壁面・床面)

⑥ 総合案内サイン(地下壁面)

2240(既設フレーム活用タイプ)
2540(新設タイプ)

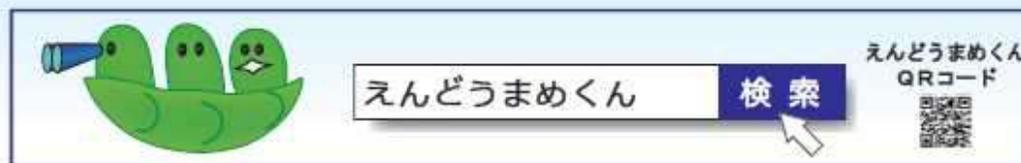
1940(既設フレーム活用タイプ)
1600(新設タイプ)

⑧ 出入口番号ライン(地下階段壁面部)

たてもの くうき よご ぐあい つね はか
この建物は、空気の汚れ具合を常に測っている

たいき じょうじ かんそくきよく
大気常時観測局 です

こくどう ごう かしょ たいきじょうじかんそくきよく せっち
国道〇号では、〇カ所に大気常時観測局を設置して、
にさんかちっそ ふゆうりゅうしじょうぶっしつ など
二酸化窒素 (NO₂) や浮遊粒子状物質 (SPM) 等を
はか けっか
測り、その結果をホームページ『えんどうまめくん』
こうひょう
で公表しています。



国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所

<http://www.kkr.mlit.go.jp/osaka/index.php>